



太平洋岸自転車道 NCR記念ミーティング@はままつ

日時/ 9月17日(金) 14:00~17:00

場所/ 浜松市市民協働センター2階 第1・2研修室

内容/ 太平洋岸自転車道「日本風景街道」中部ルート連絡会 発足会
ナショナルサイクルルート交流フォーラム

北海道TOKACHIサイクルツーリズムルート協議会

北海道サイクルツーリズムの取組



北海道サイクルツーリズムの取組

ルート協議会

各ルートで活躍するプレイヤー

○ 位置付け、役割

- ・各ルートで活動する自治体、地域の観光事業者、自転車事業者等により構成
- ・基幹ルート、地域ルートを設定し、現地で主体的にサイクルツーリズム環境を提供
- ・当面の取組を「実施計画」として作成し、連携協議会や関係者と共有し連携を図る
- ・決定したルート及び実施する取組内容について、北海道及び関係市町村の自転車活用推進計画に位置付ける
- ・連携協議会と連携し、サイクルツーリズム環境の提供・改善に努めることを責務とする

○ メンバー（案）

- ・市町村（基幹ルートは都市間を繋ぐため、複数を想定）
- ・総合振興局・振興局（複数となる場合もある）
- ・開発建設部（事務所含む）
- ・各ルートの民間事業者団体（観光協会、商工会議所等）
- ・各ルートで活動する自転車関連団体 など

協賛メンバー

- ・各ルートで連携して取組むバイプレイヤー
- ・JR、バス等の交通機関、コンビニ、GS、レストラン、ホテル等の沿道企業、道の駅、観光協会、銀行など
- ・自転車メーカー、スポーツウェアメーカーなど後援・協賛する企業

連携
/
協働

情報を共有し連携

異なる立場・組織力を活かし、各々が協働

連携

連携協議会

各ルートを繋ぎ全道を牽引

○ 位置付け、役割

- ・各ルート協議会と連携し、全道を繋いでいく立場で活動
- ・各ルート協議会と多面的に連携・支援
 - ※走行空間等の施設管理者は、路面表示・案内看板等を設置。観光関係団体は、既往の取組と整合を図り統一を目指す。広く内外にプロモーションを実施。関連データを収集し改善につなげるなど
- ・各ルート協議会と連携し、サイクルツーリズム環境の提供、改善に努めることを責務とする
- ・各ルート及び実施する取組内容について、北海道及び関係市町村の自転車活用推進計画に位置付ける

○ メンバー

- ・開発局、運輸局、道庁（本庁）
- ・道商連、観光機構、SBW支援センター

助言

アドバイザリー会議

- ・サイクルツーリズムに知見を有する有識者（大学教授、民間事業者等）により構成
- ・先進的なサイクルツーリズム環境の実現に向け、広範に助言をいただく

北海道サイクルツーリズムの取組

■北海道アドバイザー会議

第1回開催: 令和2年1月23日(木) 15:00~17:00

参加者: 有識者、全道各ルート、連携協議会(行政等)
(約80名)



第2回開催: 令和3年3月4日(木) 10:00~12:00(Web開催)

参加者: 有識者、全道各ルート、連携協議会(行政等)
(約110名)



■現地視察

走行会: 令和2年10月10日(土) 13:00~17:00 羊蹄ニセコエリアサイクルルート(走行距離約53km)

意見交換会: 令和2年10月11日(日) 9:00~10:30 倶知安町

参加者: 有識者、全道各ルート、連携協議会(行政等)(約30名)



北海道サイクルツーリズムの取組

○自転車走行環境の改善



ルートのご案内サイン



路面への通行位置明示

○受入環境の改善



サイクルラックや修理工具の設置
(道の駅等の立寄施設)



路線バスを活用した
自転車輸送

○情報発信・サイクリストとの コミュニケーション



スポット情報

総合的な満足度 ★★★★★ 4/5
道の走りやすさ ★★★★★ 4/5
全体的に走りやすい道が多く、景色も最良でした！



コミュニケーションサイトによる情報発信
サイクリストからの意見収集

○情報発信 (リーフレット)

きた北海道ルート
1
ルート全長: 955km / 標高最大: 1,261m
ストレスフリーで駆け抜けろ！
自慢の日本のっぺん！

石狩川流域圏ルート
2
ルート全長: 430km / 標高最大: 212m
大河と大地を体感！川・Lake・nature

阿寒・摩周・釧路湿原ルート
3
ルート全長: 304km / 標高最大: 2,369m
雄大な自然の雄偉さを感じるサイクリングロード

トカプチ400
4
ルート全長: 400km / 標高最大: 2,617m
山、平原、湖へ
雄大な自然を感じるサイクリングルート

富良野美瑛サイクリングルート
5
ルート全長: 248km / 標高最大: 2,262m
アザラシのサイクリングの聖地

オホーツクサイクリングルート
6
ルート全長: 1,200km / 標高最大: 2,337m
雄大な風景と
いにしへの風情を思いをさせるルート

石狩北部・増毛サイクルルート
7
ルート全長: 280km / 標高最大: 2,447m
自転車であらう！遊ぼう！石狩北部と増毛！

羊蹄二セコエリアサイクルルート
8
ルート全長: 140km / 標高最大: 1,497m
ピニターから
コンベーターまで楽しめる雄姿だ！

北海道サイクルーツリズムの取組

■自転車交通量調査

全道各サイクルートの継続的な利用実態把握のため、CCTV画像(道路管理用カメラ)を活用した自転車交通量計測手法について現在、検討中。(実査との誤差が大きいため引き続きチューニング作業を継続)

【トカプチ400～R2.8月、10月観測】

□ : 自転車交通量計測 (AI映像解析+目視観測)

□ : 自転車交通量計測 (目視観測のみ)



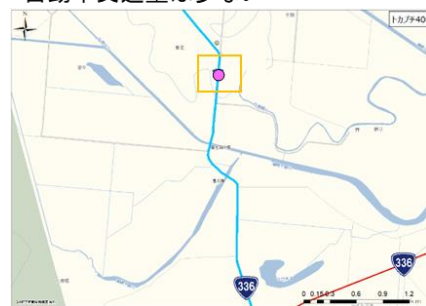
【選定CCTVの概要】

- ・並行道路がほぼない市街地外
- ・自動車交通量は少ない



【選定CCTVの概要】

- ・並行する町道がある市街地外
- ・自動車交通量は少ない



CCTV基本情報				8月時点 12時間自転車交通量		10月時点 12時間自転車交通量	
管轄開発建設部	CCTV名称	緯度	経度	目視観測	AI観測	目視観測	AI観測
帯広開発建設部	R27315.5黒石平	43.3500778	143.2665200	6	115	6	29
帯広開発建設部	R336147.3養老	42.7410828	143.6315097	2	-	0	-

トカプチ400設定のコンセプト

【旅する「冒険大陸」北海道】

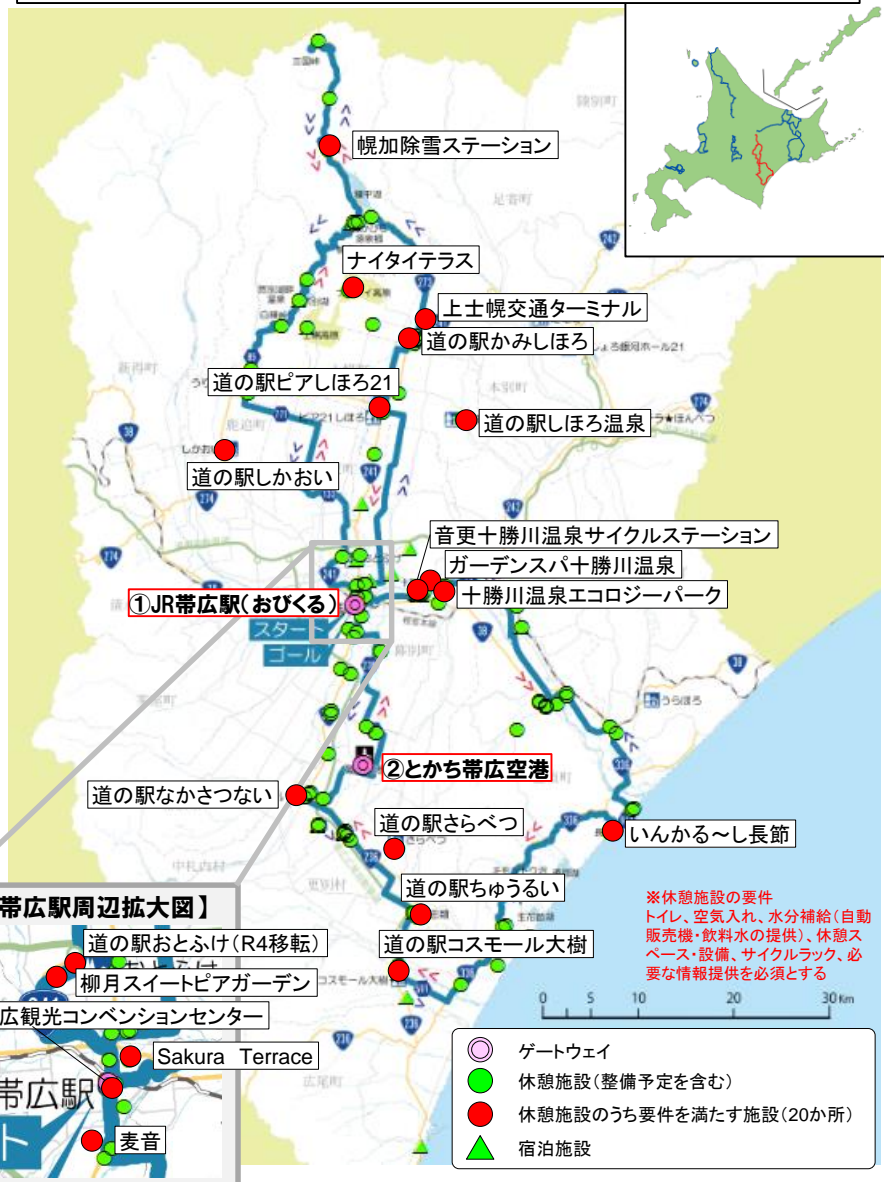
- ・北海道の南東部に位置した十勝平野は、岐阜県や滋賀県とほぼ同じ10,832km²の広大な面積を持つ。
- ・山、平野、海へ、雄大な十勝を感じることができるサイクリングルートとして設定。

- ・大自然を駆け巡る魅力!!
- ・食、景観、アクティビティ!!
- ・冬も含め1年中楽しめる!!
- ・様々な客層に対応!!



受入環境整備状況

ゲートウェイ・サイクルステーション(休憩施設)・宿泊施設



ゲートウェイ



【JR帯広駅(おびくる)】



【とちかち帯広空港】



サイクルステーション



【音更十勝川温泉サイクルステーション】
(e-bikeをはじめとしたレンタサイクル、工具貸し出し等)

休憩施設



【道の駅しほろ】
(空気入れ・工具貸し出し、チューブ販売)

宿泊施設



【ホテルヌブカ:本館・別館】
(客室内への自転車持ち込み、レンタサイクルの実施)

受入環境向上策～ゲートウェイでの取組～

手ぶらレンタサイクルの実施

ゲートウェイ間（帯広空港⇄帯広駅）、ゲートウェイと観光地（帯広駅⇄十勝川温泉）にて十勝バスを活用した手荷物輸送サービスを実施。本年度も実施に向け準備中。

帯広空港 ↔ 帯広駅

**手ぶら
レンタ
サイクル**

十勝バス
荷物輸送サービス
はじまります！

2019年 4/27(土)～11/4 (月祝)

予約し、当日貸出場所でお申込み。
大きな荷物は、「手ぶらサービス」で空港連絡バスに預け、レンタサイクルでそのまま観光へ！
「とちろ帯広空港」「帯広バスターミナル」で自転車を返却、荷物をお受け取り。
荷物を預けて自転車観光。帯広空港、帯広駅での乗り捨てOK。出園風景が下りても、とちろ帯広空港～帯広市中心部、手ぶら自転車観光はいかがですか？

ご利用料金

自転車レンタル料 1時間 200円～ 電動・クロス・ロード ・マウンテンバイク	バス乗車券 (荷物輸送料) 1,000円 帯広空港連絡バスでお預物をお運びします。	手ぶらレンタル手数料 2,000円 空港出賃料、自転車回収料など
---	--	---

帯広空港には、レンタサイクルのスタッフが常駐していません。ご予約に合わせてうかがいますので、必ずご予約を、おねがいします！

ご利用日前日までの予約が必要です。くわしくはお問合せください！

営業時間 9:30～17:30

とちろ帯広空港からご出発
電話 0155-66-5894
ファクシミリ 0155-52-3186
お申込用紙ダウンロード

帯広駅前からご出発
電話 0155-23-5920
ファクシミリ 0155-23-5921
お申込用紙ダウンロード

帯広空港連絡バスについてのお問合せ
0155-23-5171
(帯広駅バスターミナル 十勝バス窓口)

実施主体：十勝バス株式会社、activity centre ANDOOR、一般社団法人 交通環境まちづくりセンター（エコバスセンターりくる）



2019年7月15日版

帯広駅 ↔ 十勝川温泉

**手ぶら
レンタ
サイクル**

十勝バス
荷物輸送サービス
はじまります！

2019年 7/27(土)～11/4 (月祝)

営業時間 9:30～17:30

予約し、当日貸出場所でお申込み。
大きな荷物は、「手ぶらサービス」で連絡バスに預け、レンタサイクルでそのまま観光へ！
「十勝川温泉」「帯広バスターミナル」で自転車を返却、荷物をお受け取り。
十勝川温泉、帯広駅での乗り捨てOK。大きな荷物を預けて、帯広駅～十勝川温泉をのんびりサイクリングしてみませんか？

ご利用料金

自転車レンタル料 1時間 200円～ 電動・クロス・ロード ・マウンテンバイク	バス乗車券 (荷物輸送料) 500円 路線バス 十勝川温泉線でお預物をお運びします。	手ぶらレンタル手数料 1,000円 十勝川温泉ご宿泊の方 → 500円 自転車回収料など
---	---	---

「帯広駅前」での乗り捨て、十勝川温泉宿泊者の方限定となります。ご了承ください。

ご利用日前日までの予約が必要です。くわしくはお問合せください！

平日8便、土日祝日6便運行。
路線バス 十勝川温泉線
についてのお問合せ…
0155-23-5171
帯広駅バスターミナル十勝バス窓口

十勝川温泉からご出発
電話・ファクシミリ 0155-32-6633
お申込用紙ダウンロード

帯広駅前からご出発
電話 0155-23-5920
e-mail rikuru@sweet.ocn.ne.jp
お申込用紙ダウンロード

受入環境向上策～サポート体制の構築

② タクシー事業者と連携し、緊急時の対応体制を整備

ルートのショートカットや迂回の移動手段、緊急時の自転車回収など、地域のタクシー事業者と連携し福祉車両を必要に応じてサイクルタクシーとして運用。

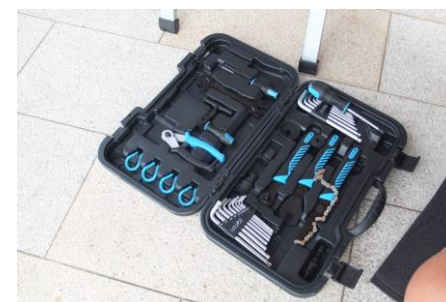


③ サイクリストサポート施設としての道の駅の整備

ルート沿線の道の駅において、自転車空気入れ、工具の貸し出しのほか、チューブを販売。（写真は道の駅しほろ）



【空気入れの貸し出し】



【工具の貸し出し】



【チューブの販売】

受入環境向上策～サポート体制の構築

道路パトロールカーへ空気入れと工具を搭載

パトロール時にトラブルが発生しているサイクリストへ空気入れ、工具の貸し出しを行う取組を実施。維持管理を行うスタッフは、事前に工具の取り扱いや自転車の仕組みについて勉強会を行っているほか、トカプチ400サイクルマップを携帯しており、近隣自転車店への案内も可能。

自転車工具・空気入れを搭載した道路パトロールカー



【自転車工具等を搭載した道路パトロールカー】



【パトカー内積込状況】



【自転車工具】



【ポンプ】
「米式」「仏式」
「英式」の全て
に対応可

維持管理事業者のサイクル勉強会



【はじめに座学】



【空気入れ体験】

<使用テキスト>

- 自転車活用推進法の施行について(H29.5.1施行)
- サイクリング初心者向けマニュアル【ロードバイク、クロスバイク編】
- 十勝地域におけるサイクルツーリズム促進に向けた取り組み(H30技研論文)
- トカプチ400ルート図(十勝サイクルツーリズム研究会)
- とがちサイクリングマップ

受入環境向上策～サイクリストにやさしい宿泊

サイクリストウェルカムな宿泊施設

客室内への自転車持ち込みが可能な施設や、洗車が可能な施設が増加。また、レンタサイクルを実施する宿泊施設も増加している。今後、室内用自転車ラックを試行的に設置し、設置者へのヒアリング調査を行うなど、宿泊施設機能向上に向けた取り組みを継続していく予定。



【客室への自転車の持ち込み】



【レンタサイクルの実施】

ホテルヌプカ
利用料金：1時間200円、1日1200円
利用期間：4月下旬-11月上旬まで
利用時間：7:00-19:00

トカプチ400ルートマップの作成:A6サイズ(日本語版・英語版・繁体字・タイ語)

ルート沿線の施設でのマップの留置やサイクリングイベントにおいてマップを配布。



【施設での留置】



【イベントでのマップ配布】

【トカプチ400ルートマップ(左:表面、右:裏面)】

②サイクリング動画によるルートの魅力PR

- ・ 初級者～中上級者向けのPR動画を撮影し、さまざまな場面でPR活動に利用
- ・ 動画はYou Tubeで公開中

中上級者向けPR動画

ロードバイクで楽しめる北海道・十勝地域の広大な大地とダイナミックな風景をPRする動画。



【然別湖(上士幌町・鹿追町)】



【三国峠(上士幌町)】



【ロードバイクで楽しむ農村風景
(更別村)】



【クロスバイクで楽しむガイドツアー
(上士幌町)】



【十勝牧場(音更町)】



【ブドウ畑(池田町)】



【e-bikeで訪れる展望台
(音更町・十勝が丘展望台)】



【ミニベロで楽しむポタリング
(帯広市)】

地域ルートの検討

トカプチ400は広域なルートであるため、初心者でも楽しめるような、トカプチ400を活用した地域ルートを検討。（協議会にて地域ルートを認定する制度の創設を検討中）

【制度の創設に必要な主な項目（素案）】

①制度の運営団体

- ・北海道TOKACHIサイクルツーリズムルート協議会

②認定のための要件（例）

- 「北海道のサイクルツーリズム推進方針」の記載
- ・ビューポイントや地域特有の魅力を巡るルート
- ・初心者を含む多様なサイクリストの走行を想定
- ・地域の短距離のサイクルルート
- ・基幹ルートから離れているビューポイントなど、隠れた地域資源を楽しめる
- その他
- ・基幹ルートとの連続性・関連性
- ・受入環境の整備状況
- ・サイクルマップ等の整備状況
- ・距離や獲得標高

→上記を参考に認定要件や水準等の設定が必要

③対象ルート

- ・管内サイクリングコース（次頁参照）

④認定方法等

- ・申請形式で協議会へ申請 or 協議会からの推薦
- ⇒要件や水準の充足状況を確認し協議会として認定

⑤認定によるメリット

- ・サイン（協議会で製作）の提供によるPR
- ・関連HPや情報発信物等への掲載
- ・連携したルート整備

「北海道のサイクルツーリズム方針」サイクルルートの考え方



十勝川温泉ぶらちりMAP



ちゅうらいサイクルマップ



トカプチ400グッズの作成

トカプチ400のロゴを試作し、試験的にボトルとサコッシュ、ネックゲイター等のオリジナルグッズを作成し、イベント参加記念品として活用。
今後は、販売を含めた活用方法を協議会で検討していく予定。




地域ガイドによるサイクリングサポート

協議会メンバーがサイクリングツアーを案内する「十勝サイクリングコンシェルジュ」を立ち上げ、活動中。

初心者やファミリーでも楽しめるツアーを検討し、展開していく予定。



TOKACHI
Cycle 
Concierge



おもてなしガイドマニュアルの作成

ガイドの裾野を広げるための取組として、初心者サイクリスト向け「トラブルマニュアル」の素案を作成。また、受入施設スタッフ向けの「おもてなしマニュアル」について素案を作成。今後、素案を更新し、ルート上の受入施設へのマニュアル配布を予定。

目次

§ 1 基礎知識編	3
(1)自転車の種類・特徴 / ロードバイクの構造と各部の名称	3
(2)サイクリストの種類	4
(3)「トカプチ 400」について	5
(4)案内表示について	6
(5)サイクルラックの必要性について	7
(6)チューブ販売の必要性	8
(7)空気入れについて	9
§ 2 おもてなし編	11
(1)補給食について	11
(2)水分補給について	13
(3)サイクルラックの設置箇所	14
(4)トカプチ 400 のルート及び周辺の景観スポット	15
(5)道の駅でのサイクリスト向けサービス	16
(6)LOVE BICYCLE STATIONについて	17
(7)宿泊施設での自転車保管について	20
(8)荷物の宅配について	21
(9)コミュニケーションサイト「サイクルルート北海道」	22
(10)トカプチ 400 サイクルルートMAP	23
§ 3 トラブル対応編	24
(1)自転車修理が必要な場合	24
(2)緊急サポートについて	24
(3)トカプチ 400 のルート周辺の病院リスト	25
(4)工具について	26
(5)携帯電話不感エリア	27



「おもてなし編」サイクリスト目線でのおもてなしのポイントや情報を記載

§ 2 おもてなし編

(1)補給食について

サイクリングでは長時間に渡って身体を動かすため、多くのカロリーを消費します。例えばロードバイク等のスポーツ自転車では20km/hで1時間走行する上約300kcalを消費すると算出されています。そのため、十分な栄養補給を行わないとヒートショック（極度の疲労状態に陥ること。自転車に例えるならばガス欠であり、身体がエネルギーを失った状態を意味する）になる場合があります。これを防ぐために、サイクリストは通常以上に補給食を摂る必要があります。こうしたことから、サイクリストは補給食を所持しながら走行することが多いですが、走行ルート上に好まれるべき補給食がある上、サイクリストの立ち寄りスポットとなりやすくなります。また、サイクリングであってもスイーツめざりとサイクリングのような組合では好まれるべき補給食があるため、補給食の選定によってはハードユーザーからライトユーザーまで幅広い層で受け入れられる可能性があります。

【サイクリストに好まれるべき補給食の条件】

- ・持ちしやすい（アイスクリーム、凍りにくい等）
- ・高カロリー
- ・旨味がある
- ・パクリしやすい
- ・食べやすい（パッケージが壊れない、大袋より小袋の）

また、ミニスーパーやコンビニユーザーは、サイクリングの目的の1つが食（スイーツ等）であることも多いため、上記の条件にさらに立ち寄りやすさやパッケージを壊さなくても済む点もあれば、多くの人が受け入れられる可能性があります。

【サイクリストに好まれるべき店の例（しほろみ海道）】

- ・シェラード（地元産のしももんがはを使って、イチゴを乗っけたもの、アイスパン等も）
- ・ソフトクリーム（自家製のソフトクリーム）
- ・はちみつ入袋（甘くてほろりと食感のハーモニ、20年経サイズで持ち運びやすい）
- ・ケーキ、ドーナツ（しももんがはあんぱんに使ったものも人気）



サイクリングイベント

サイクリングイベントの実施

トカプチ400のルートを活用したサイクリングイベントや、コロナ禍における新しい生活様式に対応したサイクリングイベントを開催。参加記念品としてトカプチ400オリジナルグッズを進呈。

十勝クライムキャンプ



コロナ時代におけるサイクリングツアー
2~3人のグループで獲得標高を競うサイクリングイベント
(十勝クライム・キャンプ)



普段はライバルだが、1年に1度のこの日だけは、共に頂を目指す仲間となる。

【実地概要】

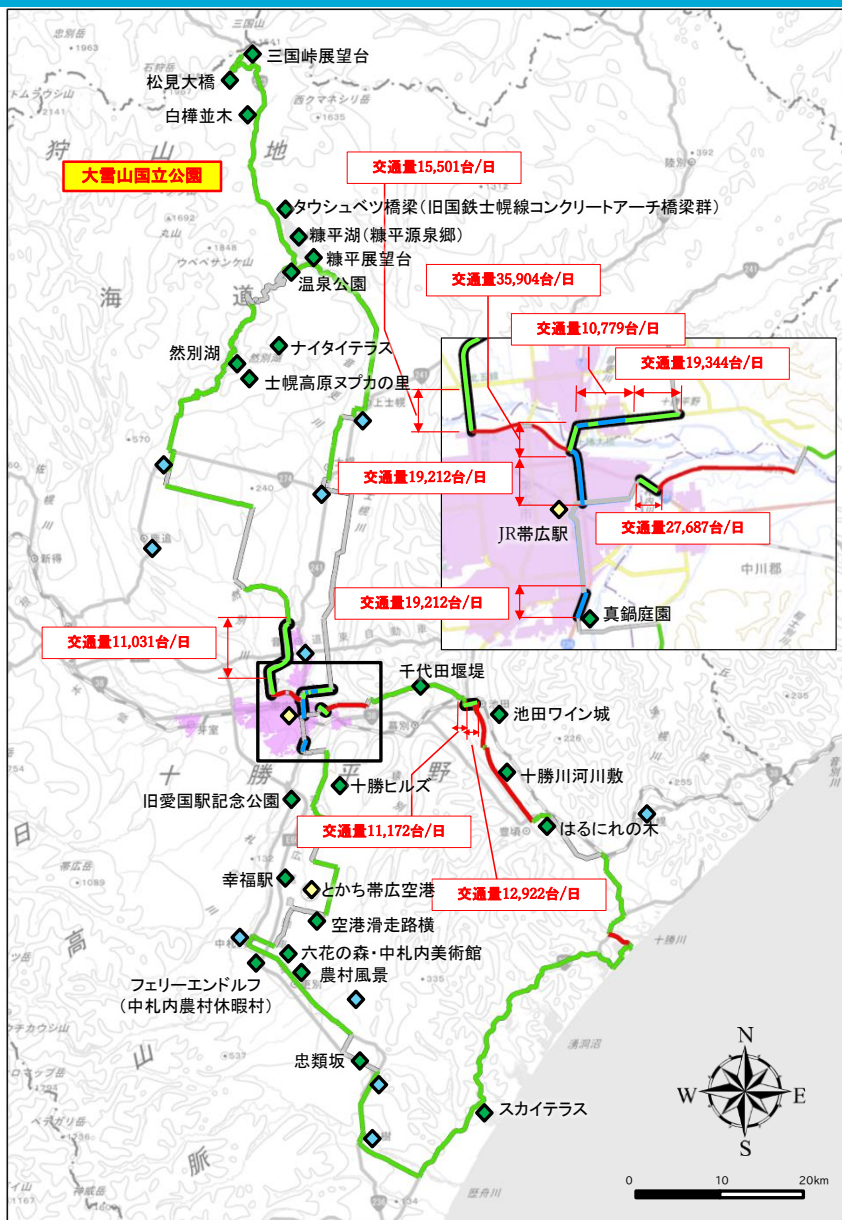
- ▲ 参加費だけで獲得標高を競い、CO2削減が可能なイベント
- ▲ 1人1組、約100~1500m行程
- ▲ 1人1組、約100~1500m行程
- ▲ 獲得標高はサイクルコンピュータで記録し、その差を競う
- ▲ 参加費はトカプチ400オリジナルグッズを進呈する
- ▲ 参加費はトカプチ400オリジナルグッズを進呈する
- ▲ 参加費はトカプチ400オリジナルグッズを進呈する

【参加費】
3,000円
※参加費にはトカプチ400オリジナルグッズが含まれます

2020 9.13 SUNDAY
10km Climb Challenge
スタート＆ゴール 標高: 900m (約1000m)

主催: 十勝クライムキャンプ実行委員会 ▲ 共催: 十勝クライムコンクリート ▲ 協賛: 十勝内陸国立自然公園管理委員会

トカプチ400のルート概要

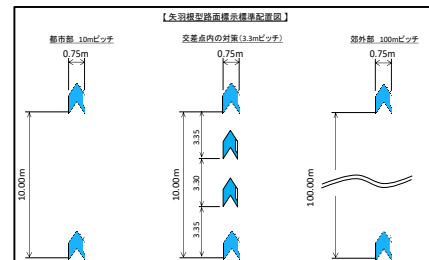


■ 起終点	帯広市西2条南12丁目(JR帯広駅)
■ 延長	403km (国: 180.3km、道道: 115.5km、市町村: 81.7km、河川敷: 25.6km)
■ 通過市町村 (12市町村)	おびひろ なかぎつない きらべつ たいき うらほろ 帯広市、中札内村、更別村、大樹町、浦幌町、 とよこら いけだ まくべつ おとふけ しほろ 豊頃町、池田町、幕別町、音更町、士幌町、 かみしほろ しかおい 上士幌町、鹿追町(全12市町村)
■ ゲートウェイ (GW)	2箇所 ①JR帯広駅 ②とちか帯広空港
■ サイクルステーション (CS)	115箇所 ※うちNCRの指定要件を満たすものは20箇所を整備予定
■ 宿	33箇所 ※うちNCRの指定要件を満たすものは15箇所を整備予定
■ 狭小トンネル	16箇所
■ 狭小幅員橋梁	9箇所
■ 急勾配	13区間

凡例

整備済

- 自転車歩行者専用道路 26km
- 都市部の評価基準準拠 6km
- 郊外部の評価基準準拠 279km
- その他(ブルーライン等) 0km
- 未整備 92km
- 自動車交通量が10,000台以上の区間 ※
- DID地区
- 国立公園
- ◆ 主な観光資源
- ◆ ゲートウェイ
- ◆ 道の駅



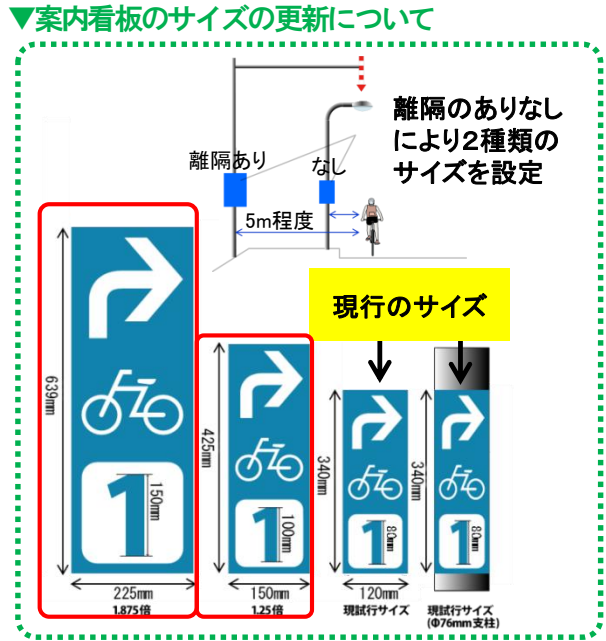
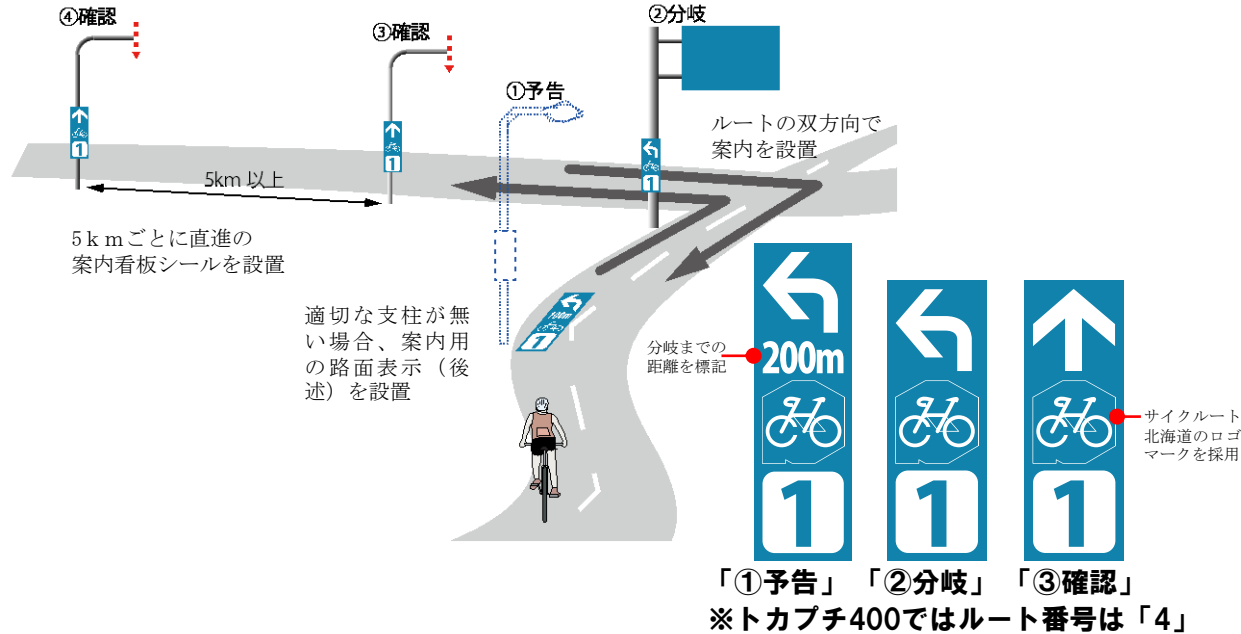
矢羽根型

※交通量が10,000台以上の区間については、都市部・郊外部共に矢羽根型路面表示を整備済み。また、同区間では自動車と自転車に対する注意喚起標識14箇所を設置済み。

走行空間整備 案内サインの設置

交差点部に設置する案内看板の種類について(サイクルート北海道の設置基準)

- ・ルートが右左折で分岐する交差点で「①予告」「②分岐」「③確認」の案内看板シールを双方向に設置する。
- ・単路部にも、5km間隔で双方向に「④確認」の案内看板シールを設置する。
- ・北海道は、冬期の除雪によって路面標示が切削される恐れがあるため、道路附属物等の支柱への「案内看板」設置を基本としている。適切な支柱が無い場合には「案内用の路面表示」によりルート案内を設置する。
- ・今後現行サイズよりも拡大して更新するとともに、予告には距離表示を標記、自転車ピクトはロゴマークを採用する。



予告案内看板



分岐案内看板



路面表示(支柱がない場合)



単路部(5km間隔)設置個所

走行空間整備 案内サインの設置

<NCR基準(必須)>

○令和3年(2021年)3月までに実施した取組内容

- ・分岐する交差点に路面表示又は案内看板を設置
(当初整備68交差点:93% ⇒ 令和3年3月末 73交差点:100%)
- ・単路部(約5km間隔)に路面表示・案内看板を設置
(当初整備80交差点:98% ⇒ 令和3年3月末 82交差点:100%)

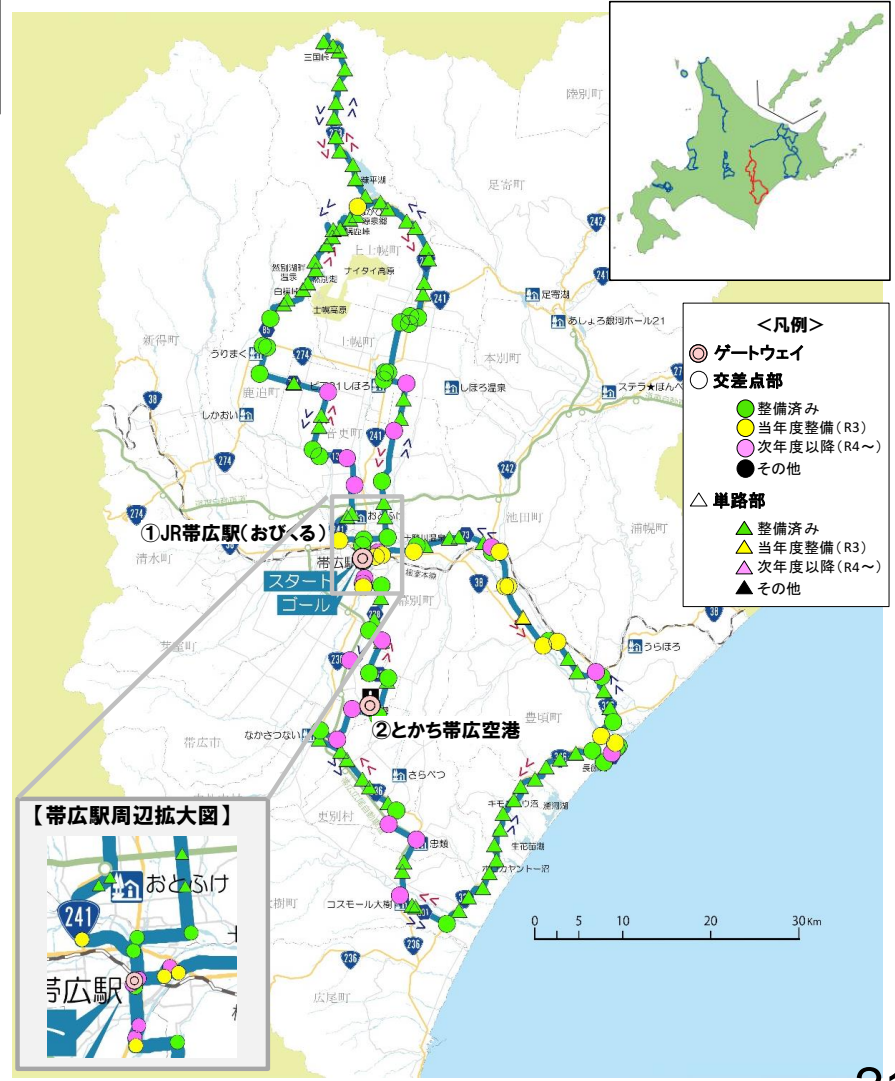
⇒ 2021年3月末で交差点での「分岐」サインを100%としNCR基準を満足



<サイクルルート北海道基準>

○令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容

- ・分岐点に路面表示又は案内看板(双方向で予告・分岐・確認)を設置
(当初整備328箇所:78% ⇒ 令和4年3月末 379箇所:91%)



注意喚起看板の種類について

◆恒常的に設置する場合

注意喚起は看板で対応。看板の日本語文字サイズ100mm、盤面サイズは300mm×400mm。ピクト+多言語対応。色は黄+黒+白。

アルミ看板にシールプリント(多言語化)

<文字高さ>

- ・日本語100mm
- ・英語50mm

<板面>

幅300mm×高さ400mm



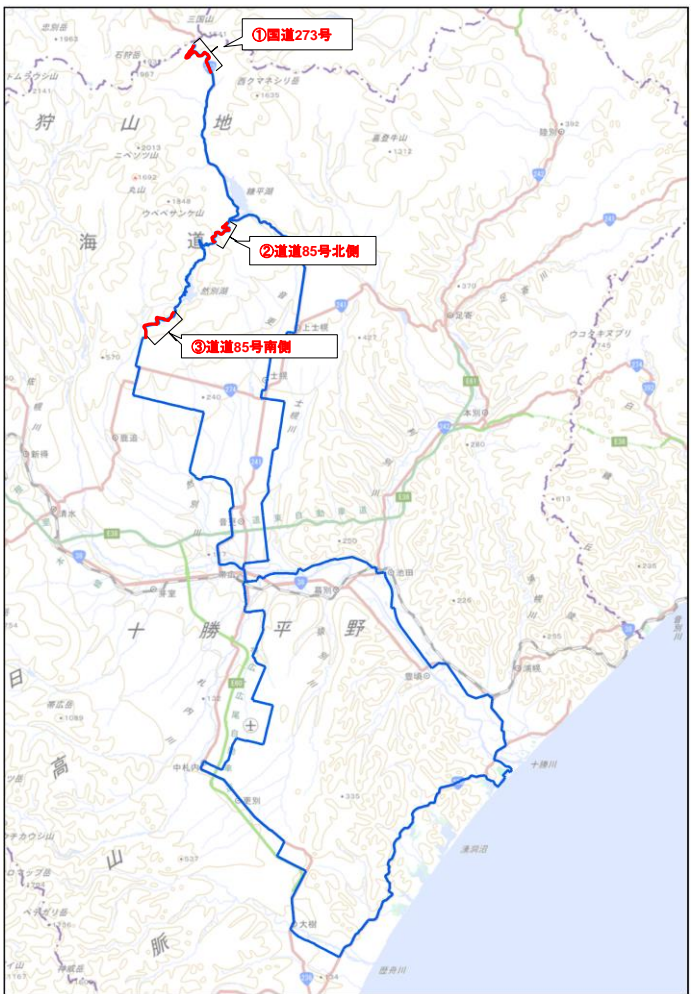
◆暫定的に設置する場合



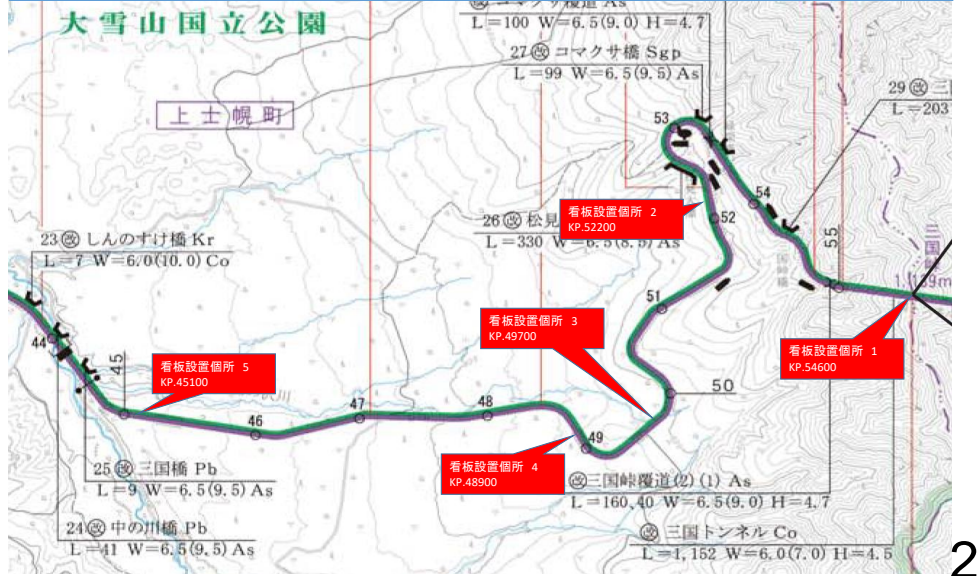
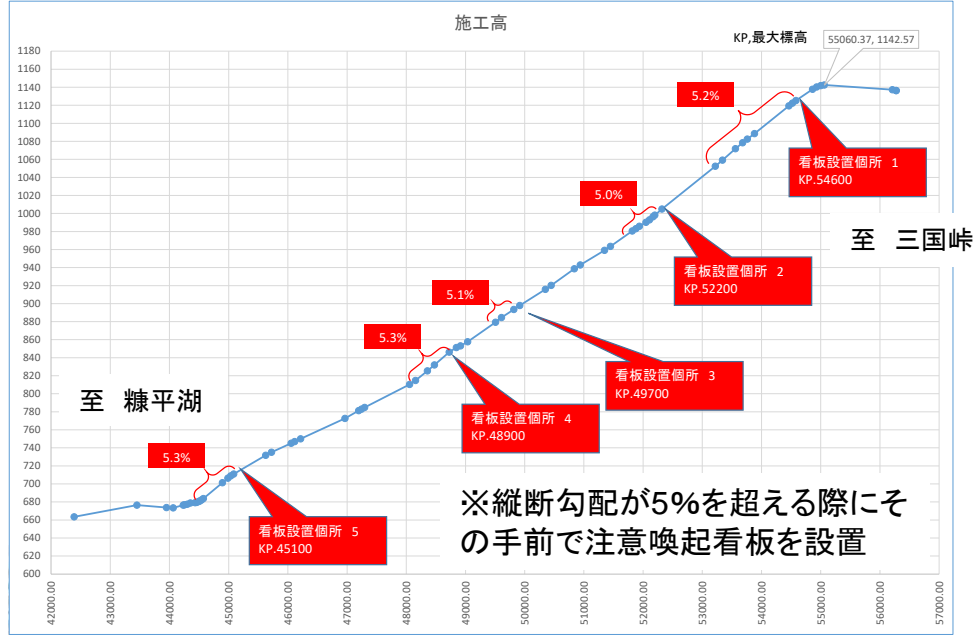
SL立看板 文字高さ200mm
(幅550mm×高さ1400mm)

走行空間整備 注意喚起看板の設置

<NCR基準(推奨)>
 ○令和3年(2021年)3月までに実施した取組内容
 ・急勾配区間に注意喚起看板を設置
 (当初整備なし⇒ 令和3年3月末 13箇所:100%)
 ⇒ 2021年3月末で急勾配区間への注意喚起看板の設置を100%としNCR基準を満足



注意喚起看板の設置箇所 ①国道273号の例



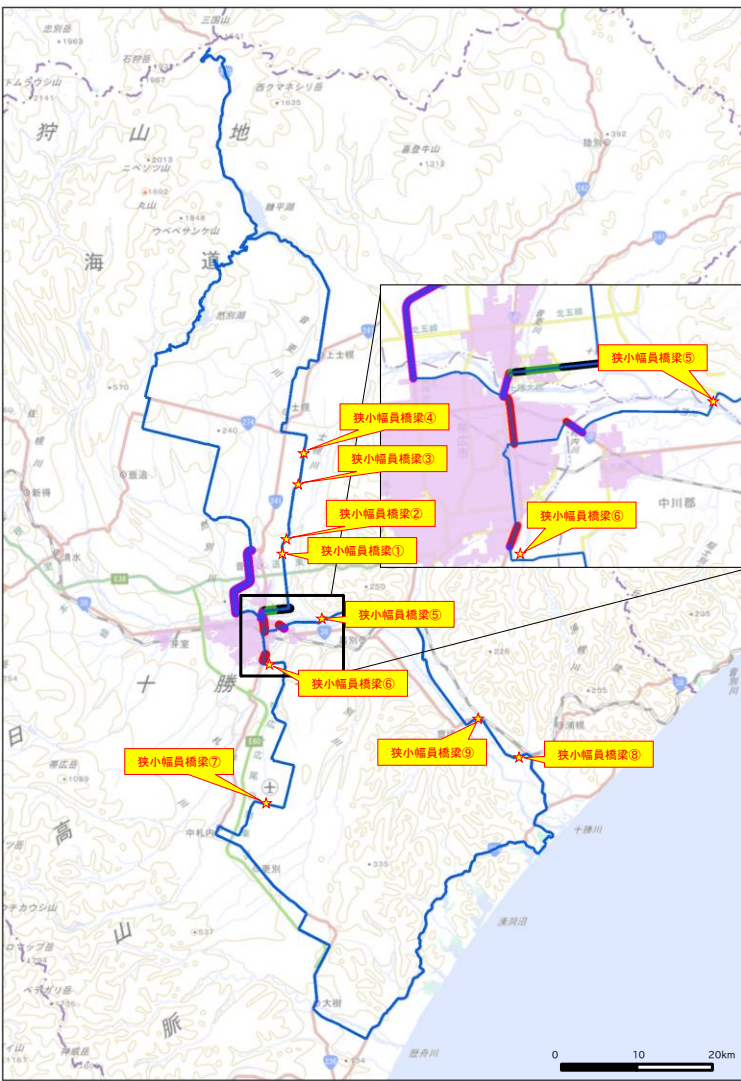
走行空間整備 注意喚起看板の設置

狭小幅員橋梁

<NCR基準(推奨)>

○令和3年(2021年)3月までに実施した取組内容

・狭小幅員橋梁に注意喚起看板を設置
 (当初整備なし⇒ 令和3年3月末 9橋梁:100%) ⇒ 2021年3月末で狭小幅員橋梁への注意喚起看板の設置を100%としNCR基準を満足



狭小幅員橋梁① 市町村道(音更町)



狭小幅員橋梁② 市町村道(音更町)



狭小幅員橋梁③ 市町村道(音更町)



狭小幅員橋梁④ 市町村道(土幌町)



狭小幅員橋梁⑤ 市町村道(幕別町:十勝中央大橋)



狭小幅員橋梁⑥ 市町村道(帯広市:愛国大橋)



狭小幅員橋梁⑦ 市町村道(帯広市)



狭小幅員橋梁⑧ 市町村道(浦幌町)



狭小幅員橋梁⑨ 国道38号(帯道:豊誉橋)



SL立看板 文字高さ200mm (幅550mm x 高さ1400mm)

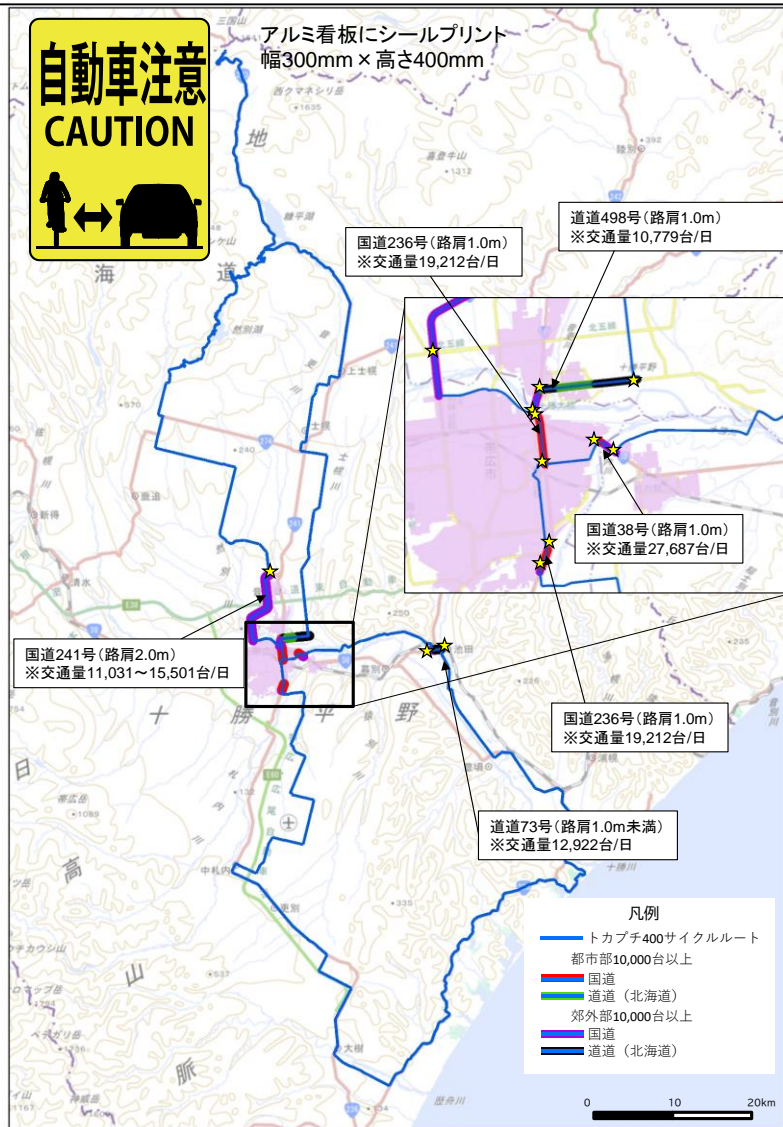
国道38号(帯道:豊誉橋)はアルミ看板にシールプリント
 <帯広側> 幅300mm x 高さ400mm、設置高さ180cm
 <豊頃側> 幅300mm x 高さ400mm、設置高さ180cm



<NCR基準(必須)>

○令和3年(2021年)3月までに実施した取組内容

- ・自動車交通量が概ね**10,000台/日以上**の幹線道路において車道混在となる区間に注意喚起看板を設置
(当初整備なし⇒令和3年3月末 **14箇所:100%**) ⇒ **2021年3月末で自動車と自転車への注意喚起看板の設置を100%としNCR基準を満足**

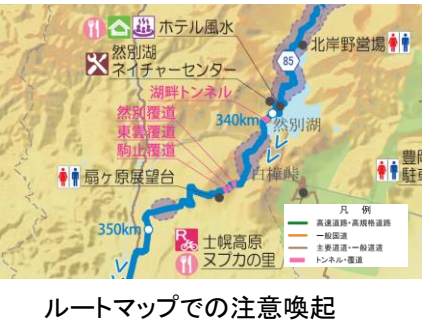
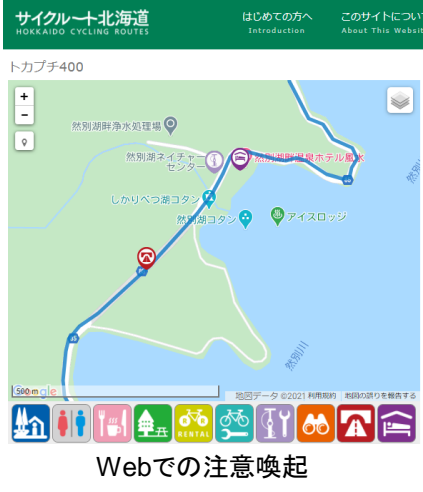
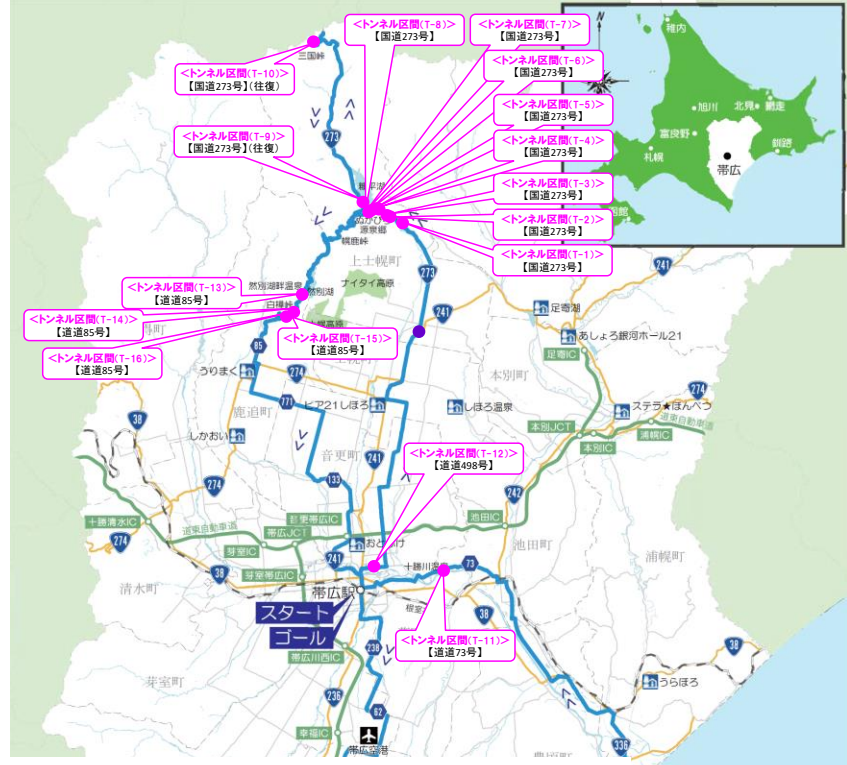


走行空間整備 注意喚起看板の設置

<NCR基準(必須)>

○令和2年(2020年)3月までに実施した取組内容

・自動車交通量が概ね10,000台/日以上以上の幹線道路において車道混在となる区間に注意喚起看板を設置
 (当初整備あり⇒ 令和3年3月末 16箇所:100%) ⇒ 2021年3月末で現地及びルートマップ等で注意喚起を100%としNCR基準を満足



狭小トンネル・覆道での安全対策としては、トンネル手前での路面表示(矢羽根・自転車ピクトグラム等)と注意喚起看板の設置、Webやルートマップでの掲載による注意喚起を実施してきた。
 注意喚起看板(SL看板の設置)は、暫定対策として行ってきたが、路肩幅員を狭くすることから、恒久的な対策として注意喚起看板をトンネルの坑口に設置することを計画している。



トンネル手前での注意喚起看板の設置イメージ